

# ウッドワン

Printed on  
**R**  
Recycled Paper

(HUTAN)

森の通信

一部 **200**円

年会費 **2,000**円

郵便振替 大阪3-3880

SAVE OUR TROPICAL FORESTS

## 森と生活を考える会

〒530/大阪市北区中崎西1-6-36 サクラビル新館#308  
Tel. (06)372-1561「自然を返せ/関西市民連合」事務所気付

第 **21** 号

・1991年 8月25日 発行

- ③ —「サラワ7女性代表団から日本の市民への声明」
- ⑤ —「私が見た 熱帯林再林プロジェクト」大西裕子
- ⑧ —「自治体キャンペーン」経過報告 ④
- ⑪ — 議員への「アンケート」結果発表!
- ⑬ — 世界の森から②「傷だらけのニューギニア」三木恵美子
- ⑮ — (寄稿)「子どもたちの未来のために」松幸剛一



熱帯雨林を守って

RHINOCEROS HORNBILL (MALAYSIA)

# everybody 毎度 on The 熱帯林!

●STAFF・号変更のごま。

Sachiko Inoshita

ウンドーなんかキライでした。押しつけがましく正義をふりかざすヤツラ、みたいに思っていました。大樹のもとにボンヤリ座っていたり、風に吹かれているのが好きでした。

でも、どんな身のまわりの緑がなくなり山々は痛々しくけずられていきました。日本は物があふれだし、でも、それは、地球のどこかを破壊し、人々を苦しめながら奪ったものだとかわかってきました。動かないわけにはいかなくなりました。

やりだすと、人と会って話したり、署名をおねがいする時の手ごたえがウレシイのです。ウータンのメンバーも、それぞれの個性があわさって、あーでもない、こーでもない、と騒いだり、「あー、ドジっ」と頭をかいたり、オモシロイのです。

「運動家」ではありません。目的達成のために他のものはみんな切りすて、ではなく、オモシロクやりたいのです。サラワクのプロナン族みたいに心豊かにやりたいのです。風にも吹かれましょう。

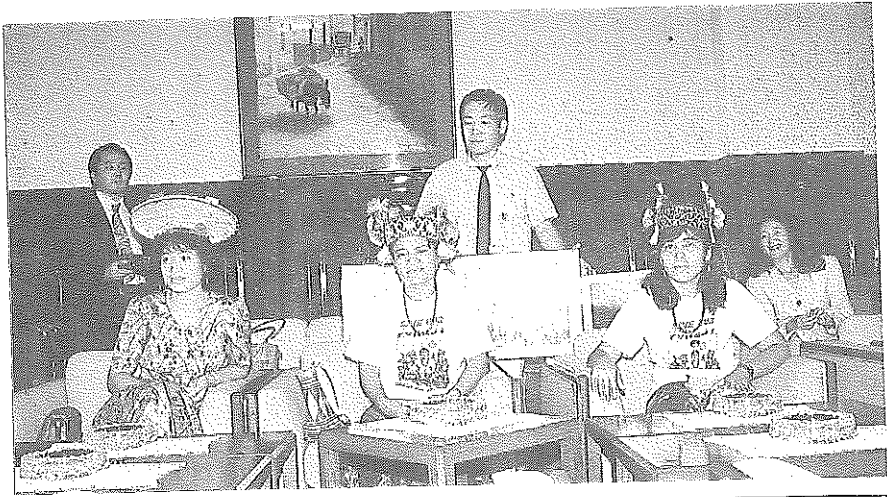
思うのですが、日本国憲法に「他国を経済的に侵略しない」「地球環境を破壊する行為は放棄する」なんてつけ加えたらどうでしょう。

えっ? 「人間の存在自体が環境破壊や」ですって・・?

\*\*\*ウータン主な活動報告\*\*\*

- 91.5.26 出前講座① 大阪の市民グループと
- 6.5 サラワクの女性初来阪、CASAが集会。
- 6.6 パオン、ムジャンさんから中川大阪府知事と会見。
- 6.6 「熱帯材を使わないで」と知事、各府議に要望する
- 6.6 JEEとウータン「サラワク・森の女たちの証言」の集い催す。
- 6.8 『インドネシアの熱帯林』神戸YMと、講演\*猪俣氏
- 6.15 出前講座② 泉大津市・南冥寺で
- 6.23 ウータン第二回総会
- 6.27 三菱商事の植林報告など\*大西弁護士
- 6.29 出前講座③ マンディで「マレーシアの森林破壊」
- 6.29 出前講座④ フォーラム連帯で
- 6.29 奈良熱帯林保護ネットワーク総会参加。
- 7.5 出前講座⑤ 大阪外大で
- 7.12 「熱帯林アンケート」の自治体 府議などの回答を
- 7.13 記者会見。回答結果は約33%。
- 7.13 月例会\*南港貯木場と合板工場見学会
- 7.18 出前講座⑥ 全電通労組関西地本で
- 7.19 出前講座⑦ 豊能ガールスカウトで
- 7.24 運動会で「フィリピンの森林破壊」報告
- 7.25 府会公明党、社会党と懇談。
- 8.1 大阪市へ質問状提出。大阪府議自民、社会、公明、共産党等へ「陳情」への依頼。

HUTAN

From  
SARA  
WAK

## サラワク先住民女性代表団から 日本の市民へ

皆さんは、これまでにサラワクで森林伐採によって引き起こされた深刻な問題についてサラワクの男性先住民から聞く機会があったかもしれませんが。私たちサラワク女性先住民代表は、皆さんにサラワクの状況が悪くなる一方であることをお伝えするために来日いたしました。

私たちは、サラワクにて政府に私たちの森での伐採を停止するよう働きかける一方で、国際コミュニティにも訴えかけていきたいと思ひます。特にサラワクの最大の消費国である日本に訴えかけたいと思ひます。

- 1、私たちは、日本が私たちの森から来る大量の熱帯木材を消費することによってサラワクの先住民たちが苦しんでいることを理解して下さるよう訴えかけます。私たちは、日本の皆さんが私たちの村に来て私たちが直面している状況を直に見て下さることを歓迎いたします。
- 2、私たちは、皆さんが木材の消費を削減されるよう願ひいたします。どうかどんなものでも1、2度使用しただけで捨ててしまわないでください。建設用の木材、紙袋、箸、電器製品用のダンボールなど、これらすべてが無駄に使われています。日本人のライフ・スタイルがこんなにまで浪費的であるとすれば、世界の多くの地域の森林に住む人々の生活破滅の原因となります。
- 3、例えばコンクリート形成用合板やアパートのドアや窓枠のように、日本の建築物を建てるには大量の熱帯木材が使われていると聞きました。また、コンクリート形成用合板は、よく、1、2回使用したのみで使い捨てられていると聞いております。皆さんの会社の建物や家が熱帯林破壊の原因となりながら建てられないように建設産業を改善するよう強く願ひいたします。
- 4、日本市民が熱帯林保護の重要性やサラワクに住む私たち先住民についてもっと知ることができるよう、皆さんがご存じのことを他の日本のかたがたに伝えて下さるようお願いいたします。日本は熱帯木材をインドネシア、パプアニューギニア、南米からも輸入しています。熱帯林保護活動をし私たちを助けて下さることは、こういった国々の人を助けることにつながります。
- 5、私たちは、子供や孫たちを守るために来日しました。皆さんや皆さんのお子さんに私たちの国や未来を守るように助けを求めているのは、私たちが子供たちのためなのです。

1991年5月30日

ナンシー・フラン・ナロン  
ムジャン・ワン  
ルーシー・バウン・ウロイ

# サラワク女性采目に想う

HUMAN · 興村知聖子

何十キロもの穀物袋を背負い、ひたすらに山道を歩くサラワクの女性。台所にある一枚の写真は、いつも私を暖かく励ます。

この六月にサラワクから女性たちがアピールにくるといふ事を知り、待ちどおしい日々が続いた。骨太の肩や腕。褐色の肌。あざやかなバティックや長い耳を飾るリングのしゃれた様を思った。土間を元気に走り回る子どもをあやして、かまどに焚き木をくべながらゆったりと豆を煎っていた老女。家族と川で水浴びや洗濯を楽しむ女。手足を巧みに使い、ラタンの敷物をまたたく間にあみあげてしまう女。車座になった村人の真中で酒を手にする女。女たちへの思いはつのつていった。

ウマ・パワン村から二人、ペナン消費者協会と地球の友から一人ずつ。北は新瀉、仙台、南は福岡、熊本まで、十五の都市のグループが彼女等を迎えた。各都市では知事や市長や議員に会い、熱帯林の伐採中止を訴えた。三菱商事との面会では、自らの商業活動を棚上げして「焼畑が破壊の元凶だ」とうそぶかれて怒りに震るえていた。伐採による土砂流入で川は汚れ、腹痛など子どもの病気が増えている。動物の激減のために蛋白質が補えず、子どもの成長が心配だ。生態系のサイクルが壊れ、虫取りの労働が増えている。道路封鎖の際に夫たちが逮捕

合い、農作業や子どもの世話を一手に担わなければならず、苦しく不安な日々が続いたという。とりわけ次の世代へ暮らしを引き継げるかという不安でいっぱいなのだ。

連日の交渉や集会を通して、訴えは多くの反響を呼んだ。彼女等の暮らしに根ざした力強い声が響いたのか、熱帯材削減にむけてなお一層、各地での動きが活発になったように思う。

めまぐるしいスケジュールをこなしながら、彼女等は日本をどう感じたのだろうか。早く子どもたちのいるサラワクに帰りたいと、涙をうかべていたという事だが。「豊かな先進国」と呼ばれる日本の中で、自然がいかに扱われ、子どもたちがどんな状況にあるか、知って帰っただろうか。伐採に反対する村人たちも、これからの開発を模索している最中だ。日本の開発の中のひずみも見て、参考にしてもらえたならと思う。また、「森を切らないで」と訴えに来たサラワクの女性の心に学ぼうとしている人々のことも気付いてもらえただろうか……。



▲サラワク特有のウマがこで赤らんにミルクを  
あける母。

## 【私が見た熱帯林再生プロジェクト】

——サラワク州ビントゥル・マレーシア農業大学を訪ねて——

弁護士 大西 裕子

Hiroko Onishi

一、はじめに

三回目のサラワク行きは二つあった。一つはムル国立公園へ行くこと、二つにはビントゥルのマレーシア農業大学ビントゥル分校（以下UPMと略す）で行われている例の三菱商事が日々宣伝にあいつとめている「熱帯林再生プロジェクト」なるものを検証（？）することだ。

紙面の都合でムル国立公園の方は割愛するが、公園周辺での伐採は行なわれていないせいにか近くを流れているメリナウ川が「熱帯の川は黄濁しているのが当たり前」という常識をくつがえす清澄さであったことだけは報告しておこう。

さて、五月一日午前九時、私たち六名はビントゥル市の中心街、ニュートウンセンターの一角に位置するビルの三階にダイアマレーシア社の伊豆社長を訪ねた。この日の来訪は既に三菱商事の地球環境室の〇氏を通じてお願いしてあったが具体的な時間については離日直前の

連絡がうまくいかず、またサラワク州入りしからの電話連絡も伊豆氏が出張中であつたり、を最終的にはマルデイから同社に送ったファクスが頼りという段取りの悪さであつた（誰に責任者は）。その段取りの悪さや附心のファクスが途中で切れて半分しか届いていなかったにも拘らず伊豆社長には極めて丁寧な私たちに応対をしていただいた。

二、熱帯林再生プロジェクトとは

三菱商事が財政援助を行っているこの「熱帯林再生プロジェクト」は現地のUPMと横浜国立大学の宮脇昭教授との共同研究をいう。

三菱側が宮脇教授にこのプロジェクトを依頼したのは、90年1月で宮脇教授の条件は①現地の専門機関との共同研究の形をとること。②三菱商事の出先がある場所、とのことでUPMに落ちついたらしい。

この再生プロジェクトは、これまでユーカリなどのいわゆる「早生樹種」を植える植林とは異なり、在来種であるフタバガキ科のメランティなどを植林によって再生させようというものである。



(フタバガキの種)

三、森の動物たちと先を競って集めた種子は一〇〇万個  
このプロジェクトのためにメランティ種の種子、約一〇〇万個をサラワク中から集めたこと前記〇氏は胸を張る。メランティは一年に一度必ず開花するとは限っておらずこの種集の作業は三菱本社が贈呈した「ペジェロ」教台を駆使し、人海戦術を用い

て、種子を扱う虫、鳥、動物たちと先を競って集のねばならず、えらい苦勞をしたらしい。

そうして「昨年一〇月から発芽実験を開始したが、一〇、一一月に行なったものは発芽率が約一割弱と悪く、今年一月に行なった分は八割と成績が良かった。そして発芽したものをポット苗にして、三々四々月かけて足躰を強くする。」というのが事前に受けたレクチュア。

伊豆社長の運転で私たちがUPMに到着したのは、午前十一時頃。研究室の建物横の駐車場にはくだんの「パジェロ」が横づけされているのが目に付く。さて現地は果してどんなもんやろか？と期待がつのる。

#### 四、畑みたいな「苗床」

UPMの講師アパス・サイド先生の先導で最初現場をみせてもらい、そのあと研究室で補充の説明を受けることになった。

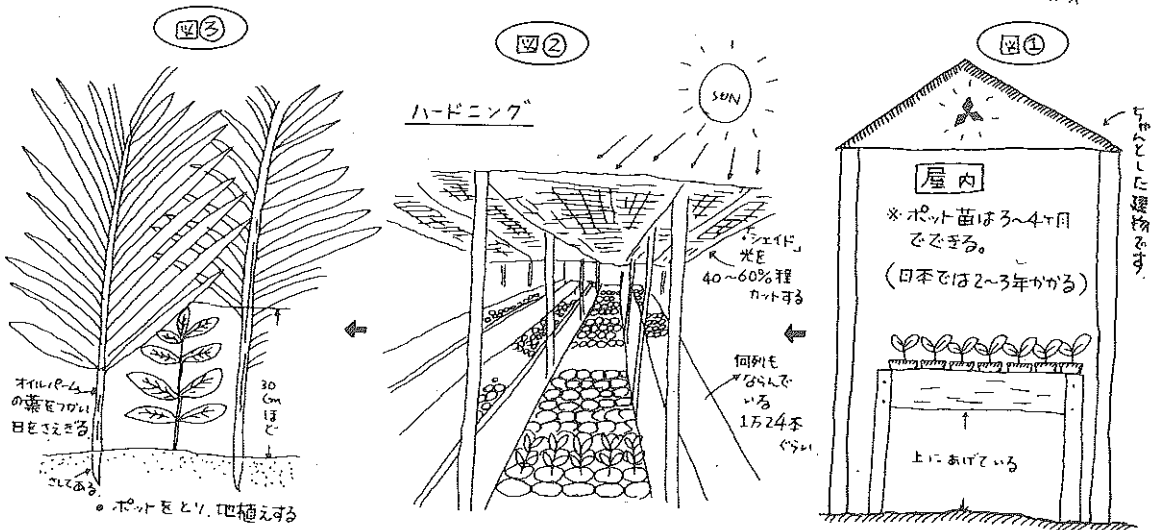
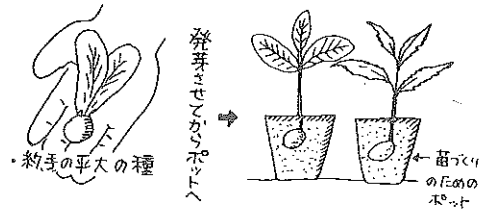
研究室の建物から「パジェロ」を教分のところに畑みtainな「苗床」の一角がある。ここはほぼ三つのパートに分かれている。その一つは図①のような建物の中に高床式の苗床が設置されており、ニメートル×ニメートルぐらいの広さで、枠ごとにフタバガキ科のメランティ、カポールなど数種のポット苗がぎっしり並んでいる。

苗の大きさは一〇センチ前後の小さいものから二〇センチ〜三〇センチの大きさに成長しているものもある。

二つめのパートは、そのすぐ奥に続いている図②のような太陽光線をカットするシェード（カット率は40%〜60%である）が天

### 【UPMの植林方法】

マレーシア農業大学ピントゥル分校



井に付いた苗床で、通路をはさんで幅二〇メートル、長さ約一五〇メートルにわたって延々と続いている。ここも苗の大きさは杵ごとに一〇数センチ、四〇センチぐらいまでさまざまである。

樹種によって成長の早さがちがうとのことだ。

「枯れ」の目立つ一角があった。アバス先生から「これは森を発芽していたのを土ごと採取してここへ持ってきたのだがセンチテイブ（繊細）を枯れてしまうのがある。一〇センチぐらいの時に持ってくるのもうとうまうとと思うのだが」との説明がある。

最後のパートはその奥につづくシェードの天井もない炎天下の苗床である。私たちが行ったときにはこの部分に植えられた苗はなかつたけれど、シェード付のところで根の付き具合などを観察し、そのあとより強くするためには太陽の下に植えかえて（この過程を「ハードニング」という）。

「足腰を強くして」からいよいよ植林地へ、となる。

第一パートの苗床の近くで四、五人の作業員がポット苗用に土づくりをしていたのが印象に残る。まさに「手仕事」で「畑仕事」である。

### 五、植林予定地は全部でたった「五〇ヘクタール」!!

再度「パジェロ」に分乗して一〇数分で植林予定地に到着。ここは殆んど木のないかなりの傾斜地で、植林する前に雑草を除き、表土を一旦剥いで中土を耕したあと、再び表土を戻して、そこに苗木を植えるとのことである。

その部分は土が乾燥しないよう箱の「わら」などをしき、又、太陽光線除けにシェイドとしてオイルペームを図③のように立て

植林が予定されている地域の一部 ▼



ている。もう少したって日差しがやわらかくなったら、シェイドを外されるという。

何ともはや「超保護環境」である。

このような人手と費用をかけたプロジェクトのため、三菱商事は「当初四年間で四〇〇〇万円の予算しか組んでいなかった

のに、五倍の二億円にふくらんだ」と、あんなに大々的に宣伝している反面、「金くい虫」のプロジェクトに今や多少心配感である。三菱商事にとって二億円が「莫大な費用」とも思えないが、

しかし、三菱の今回の植林プロジェクトは四年間だったの五〇ヘクタールで、今年はそのうち三・四ヘクタールが実施されるにすぎない。しかも、四年後にこのプロジェクトが継続されるかについては今だ何も決っていないのだ。

仮にこのプロジェクトがサラワク州においても、アカシアマンヤコム、ユーカリのような早生樹種ではなく、メランティ、カポールなどフタバガキ科の在来種の植林が「技術的には」可能であることを立証できたとしても、問題は、商業伐採によって荒廃している数百万ヘクタールに及ぶサラワクの広大な森林エリアに、五〇ヘクタールあたり二億円（効率をよくすることによって多少のコストダウンは可能としても）という非常に高いコストをかけた植林事業を一体誰が実行するのかということである。

三菱商事によるこのプロジェクトの真価はこの「実行性」について同社がどのような役割をこれから果たすにかかっているといえよう。



熱帯林不使用にむけての  
自治体キヤンペーン経過報告

— IN OSAKA —

今回のサラワク女性来日は、各地の新聞などで多く取り上げられ熱帯木材不使用への自治体キヤンペーン運動のほずみとなりました。仙台、新潟、静岡、名古屋、広島、松山、高松、熊本など多くの都市で行政や議員への申し入れが行なわれました。ウータンは、6%サラワク女性と中川大阪府知事の会見以前に府側・公共事業発注各部署との相談会を行なってきています。思うような成果が出ずにいます。「さうあかんわ」と目先を議員に向け議会で「熱帯林問題」をとり上げてもらう行動を始めました。この向の選挙を境にして議員に対するアンケート（回答率約33%）実施。何とか力になって議員さんを見つけてくださいました。（※アンケート結果は後ページにあります。）

6月中旬、さうこうしているうちに公明党の議員さんと公えることになり、とりあえずあいさつに行ったりとこう大阪府議会に「地球環境問題調査特別委員会」（委員長、丹部英明、自民、共産、4.4.03、共2無上計17名）が出来たことを知らされました。出来たといっても即、具体的な動きなど期待する方が無理というもの。（彼らを熱帯林の現地視察へ送れないものか？）その後、社会、共産、自民へお願いに回ったが議員の多い自民から色よい返答がなかったことばきうまでもない。さて私たちは9月に入ったら大阪府議会議長にあて「熱帯林の保護に關する陳情」を賛同人と団体をつくり出す予定です。日々の熱帯林破壊を目前にしてながら動かん現情にいらつきながらも「あせったうあひん」とみんなどいっている今日このごろです。

（永田）





# HUTAN NEWS

〈コンパネ関係〉

(朝日 '91.8.16)

## 木質の廃棄物 リサイクルを

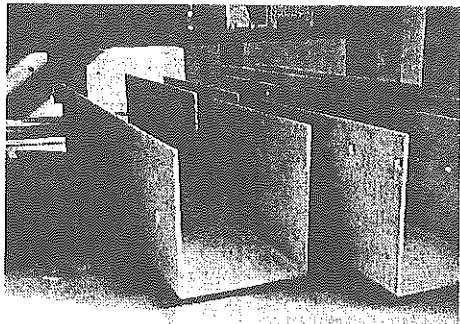
林野庁が対策へ  
建替えや新築などに伴  
う木質廃棄物の増加は  
ただで捨てられてしま  
うコンクリート型枠の  
有効利用を目指す。林  
野庁は来年度から五分  
に取組む。実用化、再  
資源化の技術開発を進  
め、集荷、利用の促進  
の業者間の情報ネット  
作を進めるという。

林野庁の推定では、木  
質廃棄物は年々増加し  
ており、全国で年間約  
二千四百立方メートル  
に達する。うち、コン  
クリートを固める時  
の型枠、こん包用の木  
枠などの廃棄物もそれ  
ぞれ年二、三百万立方  
メートルに達する。

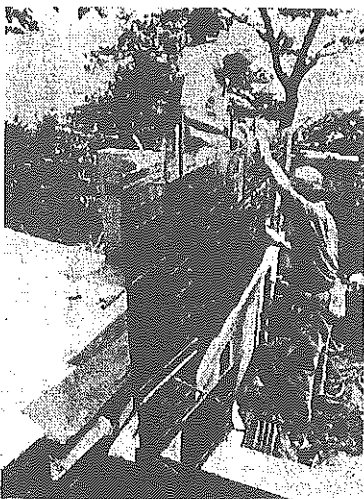
これに対し、パルプ製  
造や家具などの部材に  
有効利用されるのは九  
十立方メートル、燃焼  
用のチップになるもの  
は約二百七十立方メ  
ートルしか利用されて  
いないと推定されている。

これ以上、増え続け  
れば、処分する場所も  
乏しく、林野庁は来年  
度から外資系団体の日  
本住宅、木材技術セン  
ターと共同で、再資源  
化対策に本腰を入れる  
ことになった。

▲ITTOが'90.秋、一応1977の年間伐採量削減の報告を出したことを考慮した林野庁が今年に入ってから  
製材木の輸入抑制のため 商社や業者の指導していくことと決めている。少しづつ重くなっているネ!



大成建設が開発したメラミン樹脂使用の打ち込み型枠



薄い瓦の型枠を組んでコンクリートの壁を造る(杉浦さん宅で)

## コンクリート型枠のめ工夫

建設会社が実験始める

## 家庭



建設現場で使われるコンクリート型枠が熱帯材の使い捨て型枠にな  
っているが、その対応策として型枠を使わない工法の実験を建設会社  
が増えている。社団法人、建築業協会も熱帯材を削減する具体案を今年度中  
にまとめる方針だ。

コンクリート型枠はコ  
ンクリートの柱、壁など  
を固めるために使われ  
てきた。型枠の大半は熱  
帯材のメラミン樹脂を使  
っている。この型枠はコ  
ンクリート固まりが取  
り外すため、普通は三、四  
回使ったあと捨てられ  
る。型枠の買付だけで熱  
帯材の輸入量の約二割を  
占めるだけに削減の無敵

## 熱帯材の使用減らす

### メラミン樹脂や瓦で代替

その対応策も含まれる。こ  
うした工場生産の型枠は  
大規模使用が可能な物に  
なっている。メラミン樹脂  
とセメント、骨格材が  
なでた厚さ三、四センチ  
の薄型型枠を開発。昨年  
から数カ所のオフィスビ  
ルで使った。この型  
三井建設は薄型型の型

●東京のJATANが事務局と  
なって発足した「コンパネ問題  
研究会」のメンバーである。  
「平和と環境を考える建築  
家(APE)」では、建築家  
の立場からの取組みとい  
うことで強い。

いつ、建築業者がコン  
クリートの型枠をそのまま  
仕上り材にする手法を使  
い始めた。

一方、建築業者設計士  
でつづいた「平和と環境  
を考える建築家」(林野  
庁代表)も削減対策の開  
発、情報発信の場に出  
ている。神奈川県・葉山  
町の建築家、杉浦敏彦  
は「住宅で瓦(かわら)の  
型枠を使っている。その  
かわら、薄型型枠、厚  
さ六センチ、型枠全体の  
要領で平行に組んで、  
瓦(かわら)でコンクリート  
を流す。この茶色で  
焼き上げられた瓦は、木  
仕上り材になる。杉浦敏  
彦は「瓦をまきいりに植  
技術的な課題は残って  
いるが、コスト的に安  
くなるのは大きな利  
点だ。瓦が成形してな  
る型枠は、木質廃棄物  
として処分すると思っ  
た。

「平和と環境を考える  
建築家」の連絡先は林  
野庁第一課(03-355  
07-800)。

熱帯林に使用する  
アンケート

◆アンケート (最終集計結果) 森元主衣! ◆

PAPA  
PAPA  
PAPA

●4月に議員の顔触れも一新し、改めてアンケートを取り直しました。同時に、大阪府下の45府市町村も実施。その主だった回答を見ながら、感想を述べてみたいと思います。

【解説1・議員編】

☆回答をくれた方々について——。1回目は選挙直前の為、回答率も悪かった。が、自分の考えた感想等を書いてきた人が多く、人間的魅力溢れる回答だった。2回目(1回目22名中4名落選、18名以外の人に送付)、党で一括して15名分を1枚にまとめて(誰かの代筆で)書いてきた社会党、「党で取り組んでいる」とばかりに、アンチョコ通りの同じ回答の公明党……。共感や人間的関心を持てる人は、2回目からは皆無でした。1回目にはのびのびとした回答をくれた自民党議員も、2回目はゼロ。自民党率の高い大阪での「熱帯林不使用条例」制定は先が長そうだ……。

★府議113名、市議90名計203名中、回答64名、回答率31%。

★全体的にみて、熱帯林は積極的に保護する必要がある(63人)、伐採で先住民の生活が脅かされている事は知っており(61人)、コンパネ等の使い捨ては考え直す必要がある(60人)、が共通の認識としてあり。

☆コンパネ使用削減の具体的方法は?の質問に対して、「代替品」の人气(44人)は分かるが、「工法そのもの

を变える」との答えが多かった(26人)のは意外。  
★世界各国の自治体が「熱帯林不使用条例」を議決した事を知っているのは21人。ちょっと信じづらい数字。ま、このアンケートで知ってくれたらうから、いいが。

★このような条例が必要か否か、に関して必要22人、難しい37人、不用3人。「難しい」は逃げだよな。特に世論を理由にするのは、「ウータン」も、市民の世論、だという視点が無い。大衆におもねりゃいいって姿勢がやーらしー。

★政治活動で環境問題に取り組む意志があるという(60人)の内、NGO(つまりウータンみたいな市民グループ)の協力が必要、と答えたのは52人。でも、議員からのコンタクトは今の所皆無です。

★その他意見を、について。凄く心動かされる意見、というのはいやほやり無記名の自由さが無いと実現しないのか。先にも述べた様に、1回目に回答を下さった方は比較的のびのびと、誠実に書いていて、「へへ、自民のおっさんもえらいじゃん」てな感じでした。2回目については、党の立場とかが見え隠れし、「みんな、アンチョコ写しちゃって」と、可笑しくなってしまうのが、殆どでした。府議よりは市議の方がしがらみが少ないのか、心優しい回答が多かったようにおもいます。全体的には「エエカッコシ」の傾向が見られる気がする、というところ、厳しいかな?

【解説2・自治体編】

回答を下さった自治体について—— 対自治体キャ

ンペンとしてウータンが動いている大阪府。中川府知事が選挙時の公約で挙げた「環境問題」「熱帯林」への取り組み。そのせいか回答は早く、しかも府知事本人から。しかし、回答は肝心の所をすつとばし、いかに突っ込まれないかの防衛一手。大阪府に到っては、自分の努力不足を棚にあげて（何せウータンが会いにいってものく対応しないもんね）説教をぶちまかす。一体何を考えているんだろう？（別にウータンは行政と喧嘩するつもりは毛頭無いが、なにせ相手の対応が悪すぎる）

★回答を寄せてくれた自治体は20。大阪府・大阪市・大東市・堺市・高槻市・豊中市・吹田市・八尾市・橿原市・河内町・寝屋川市・太子町・田尻町・岸和田市・阪南町・箕面市・高石市・泉南市・枚方市。（以上、順不同）回答は、首長クラスから営繕部や秘書課、民生部や企画部など様々な方から頂きました。

★熱帯林の保護は必要（20府市町村）、先住民の生活が脅かされている事は知っている（20）し、コンパネ等の使い捨ても考え直すべき（19）、との考えが基本。

★コンパネ使用削減の具体的方法としては「代替品」（9）「使用回数を増やす」（11）「工法を変える」（1）★世界各国の自治体が「熱帯木材不使用条例」を決議している事は、知っていた（6）、知らなかった（13）。

お見事なのは、「不使用条例が何を指すか不明確で答えられない」（大阪府）。逃げもここまで来ると、みっとも恥ずかしい。大阪府が「知って」いたのは、姉妹都市のシスコ市長からの手紙で、の様だ。

★このような条例が自治体で必要かについては、泉南市のみ「必要」。泉南市は、エライ！「難しい」（16）、その他（2）。無回答は大阪府。

★環境問題へ取り組みようと思っている（18）、無記（2）。その為NGOの協力を必要とするのは（5）。市民団体を嫌いそうな行政体で、5つもとはオドロキです。望まない（1）。何ともいえない（8）と無記（6）はみんな「望まない」んだろう、きっと。

★その他意見について、後半寡黙だった（つまり無記が多かった）大阪府が一番長い回答を寄せてくれました。ウータンはじめ、いろんな環境問題のグループの努力をこれだけ冷遇しておいて、よくまーぬけぬけと。こうあらかさまに責任転化してしまう厚顔無恥な大阪府には、これを元に公開質問状を出します（何と答えるかみものだ）。大阪市の自由な意見——（前略）行政の努力は勿論ですが、事業者や市民がそれぞれの立場で、人間活動と環境の関わりを理解し、環境に配慮した生活行動を心掛け、よりよい環境づくりの為の実践を進めていく事が大切（後略）——

★全体的に「逃げ腰」「事なかれ」ニュアンスで一貫した回答が多い。答えている様で中身の無い大阪府、不都合な質問には無回答の大阪府、などなど。

★正確な回答一式を知りたいと思われる方は、ウータンの篠宮まで。（基本的にTELは不可です）事務局気づけの郵便等で、御連絡下さい。

◆世界の森から②——パプア・ニューギニア——◆

# 傷だらけのニューギニア

弁護士 三木 恵美子

昨年の秋、サラワク州へ行ったのがきっかけで、俄かにこの春結成されたJ A R P L Lこと熱帯雨林保護法律家リーグのメンバーは、知識はないけど腰が軽いのが特長で、この六月一四日から二三日まで、突然パプア・ニューギニアに行くことになった。

カソリック正義と平和協議会の清水シスターがニューギニアに入っていたため、わずか六人の代表団がJ A N T社のある本島のマダン、S B L C社のあるニュー・ブリテン島、乱暴な伐採が行われているニュー・アイランド島の三つのグループに分かれて調査することになった。ホスキンス空港と西ニューブリテン州の州都キンベとの間に位置するブルマに、S B L Cつまりステイン・ベイ・ランバー社の本拠地がある。同社は日商岩井の合弁企業であり、代表取締役以下の主な職員は日商岩井の社員資格を持ったまま派遣されている。

ブルマの村民たちに尋ねたところ、P・ニューギニアが独立する以前、オーストラリア信託統治領時代にオーストラリア政府と住民との間で協定が結ばれ、わずかな一時金を貰って以来、金銭を受け取らない状態で付近の森林が伐採されているという。他方、S B L Cの大田代

表取締役によれば、ロイヤルティは毎年払っていると言う。このお金はどこに消えるのか、最終的にわかっていない。

ブルマには、J I C Aの援助で積出港が作られたが、伐採が終わった現在では、廃港になっている。港は土砂で埋まり、他方、海流の流れが変わったために周囲の海岸線は一〇〇メートルも前進して、水の中に立木が立つ。港に残った大きな木材が火を放たれて燃えている。住民に返せばいろいろと使い道のある木材が、炎の中ではじけ飛んでいた。

ブルマの森を食いつくしたS B L Cは、島の反対側のアミオに拠点を移していた。ヘリコプター以外一切の交通機関はない。ヘリで島を南北に横切ると、プロッコリーのような原生林の中を、ひっかき傷が走る。ブルマからアミオに移る時、ブルドーザーが強引に縦断させた傷跡と、伐採道路の傷跡である。川があろうと聖域があろうと構わずに最短距離を通すだけを考えて前進したことが、その形から伺われる。

アミオに私たちを迎え入れてくれる予定の人は誰もいないと思っていたが、S B L C社は既に待ち構えていたことが数時間後に分かった。プッシュ・テレフォンで、この国の秘密はみんな外に伝わる。小学校の庭があったので、強引にそこに降り立ち、ヘリを見物に来た村の人にお願いで、宿と芋を提供していただいた。

みんな髪がカールしているので、真っ直な髪が珍しく、一人の子どもに髪を抜くことを許したら、大変な目があった。アタックザックを是非担ぎたいという人がいる

ので、その好意に甘えた。

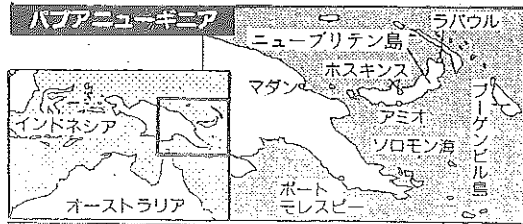
アミオは投げいれで魚が取れる豊かな土地だが、伐採のために泉がすでに濁り、聖域が破壊されていた。原生林を根こそぎ切つて、大地を引き剥がして膨大な砂利を取つており、これに反対するブロッケードが行われ、賠償交渉に入つていた。

村民の内約四〇名が雇用されているが、主な労働者はブルマで操業していた時の労働者そのまま連れてきていた。遠く本島からの出稼ぎ労働者もいた。アミオを知らない出稼ぎ労働者たちは、知らないままに聖域を破壊し、農場を横断して操業し、後で気が付いて深刻に悩み退職したものもいた。

こんなことを、首都ポート・モレスビーの役人たちは全く知らないと言つて良い。世界銀行やその他の外圧で、森林法を改正し環境基準を作成しているが、この文章が公表されるころには新法が成立している予定である。基準にあつてはどうかを監督する森林官の質と量が不十分であるため、絵にかいた餅になることが目に見えている。

各中央官庁の重要な部分には、全てオーストラリア人が配置されており、その人たちが実質的な決定を行っていることが伺われる。悪名高い価格移転をS B L C社が現に行つており、追徴金を取つたと言つて説明してくれた通産省時次官も、その人を紹介してくれた法律家もオーストラリア人であつた。

都市生活に必要な日用品は全て輸入であり、薬漬けのオ



無残な姿をみせる原生林▼

オーストラリア肉以外に牛肉はなく、N I E S から衣料品、台所道具、加工食料品の全てが輸入されていた。もうパプア・ニューギニアは森林も、都市も危ない。



# 「子どもたちの未来のために」

北嶽本保育園・理事兼保父見習員 畑の隊長



● 松本 剛一  
Gouchi Hatsumoto

## ● ナマステ!!

大阪府門真市で民間の保育所を運営している者です。ウータンの永田氏との御縁で投稿させていただきます。

当保育園の「保育の目的」の一つに「まきとし生きるすべての生命を大切に育てる保育」とあります。今を生きる子どもたちに「自然に対する畏敬の念」、「食べ物へのありがたみ」を実感させたいと願いつつ日々の保育にあたっています。それには自分の食べ物を自分でつくる農作業が一番だと、現在一反弱の畑で子どもたちと野菜づくりには汗を流しています。(もちろん、完全無農薬)春にはタケノコ掘りにイケゴツみ、梅を収穫してはシロップづくり、玉ねぎを使ってハヤシライスパーティー。夏の一泊保育にはナス、トマト、キウリ、ピーマン、トウモロコシが食卓には、秋にはみかん、柿狩り、お芋掘り。冬には大根、人参炊き……と、四季おりおり旬の味を楽しんでいます。

向し野菜といえは、スーパリーのトレイにパック詰めされていくものと思いついて泣いてしまう子どもたち。始めはミミズ、ナメクジ、ヨトウ虫を見ただけで泣いてしまつていましたが、種まきから世話を続けていけば、人参、ピーマンも生でバリバリかじるようになります。

● おなかがいっぱいになったところで、お次は文化だろということ、異文化に対する理解を深めるお勉強です。ユニセフであ



4歳でマイコンの収穫をする保母さんと園児たち。

会では、5・4・3才児によるパーカッション遊びに発展しました。我々、スタッフの想いを子どもたちがどう受けとめてくれたか、確たる自信もありませんが、各々の成長のなかで「あの時、保育園の先生が言うこと、たんはこのことや、たんか。」と想い起こしてくれれば十分です。

株だ、絵画だ、ゴルフ会員券だとバブル経済に浮かれ、すっかり品性をなくしてしまつた日本の大人の皆さんに、子どもたちからのメッセージです。

「人間も、大自然に生かされているひとつの存在にすぎない。」と……。

## ◆ 北嶽本保育園

(内本市北嶽本町37-11(テラマシ)  
TEL:0722(8)10946)

\* 松本さん、どうもありがとうございました。

NEW DORNER.

地球に、むかふ暮らし方



【その1】——紙の場合——

買い物をする時、袋や包装は、断る。

「あ、つつまなくていいですよ」

「いえ、おつつみします」

「いや、モツタイナイから・・・」

「いえいえ」といいつつ、電光石火の早さでつつんでしまう店員さん。

ウウツ、または敗北・・・と涙をのんでひきさがる。

「包む」という行動をインプットされている店員さん、

「マニユアル」からはずれるのは不安らしい。

ムダ紙をもらわないのもタイミングが必要。ニコヤカに、しかし断固として「資源のムダですから」とやろうじゃありませんか。

☆いただきものお菓子などのキレイな包装紙は封筒に型紙をつくつといて、TVをみながら、長電話しながら、つくれます。

【その2】——アルミカンの場合——

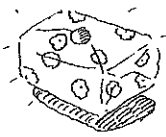
牛乳パックやアルミカンを集めて近くの作業所に。

近頃では、道を歩きながら、「オツ、あれはアルミカンだ！プルタブだ！」と、ウの目タカの目。

友人と映画の帰り、「あ、ヘイの上にアルミカンが！私ひろうわ」

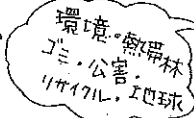
「アンタ、なにすんのんな!」

友人は10mもとんで逃げ、「他人の顔」をしたのであった。



\*あなただけしているリサイクルやその失敗談をおしえて下さい。このページはあなたのコーナーです!

①.....ウタンにあります。



BOOK こんが本、ででま、せ

『森林の明日を考える』①

自然享有権の確立をめざして

◆日弁連・公害対策環境保全委員会

有斐閣選書・一七五一円

『日本の公害輸出と環境破壊』

東京アジアにおける企業進出とODA

◆日弁連・公害対策環境保全委員会

日本評論社・一八〇〇円

『熱帯雨林の生活』②

ホルネオの憤慨民とともに

◆井上真・二二六六円 築地書館

※ろ年近くわたってホルネオの先住民と

生活をともした番着のおもしろいレポート

『バルドージャーが来る前に』

世界銀行とナシビクワラインディオ

◆デイヴィッド・ブライス、斎藤正義訳

三二番房・二七〇〇円

『熱帯雨林で私がみたこと』③

“IN THE RAINFOREST”

◆モザリン・ゴードフィールド、雨森孝悦訳

築地書館・二〇六〇円

『熱帯林破壊と日本の木材貿易』

WWF緊急レポート(日本語版)

◆黒田洋一・オフラソワ・ネクトウイ 共著

築地書館・二九八七円

\*ごぞんじアタンの黒田洋一をぜひ読め!

『熱帯雨林の動物たち』

ホルネオにその生態を追う

◆安岡繁樹

築地書館・二二六六円

『アマゾンの戦争』シロメンテス。

熱帯雨林を守る森の民

◆トニー・グロス編 神崎牧子訳

現代企画室・一八五四円

◆書評

かゆい所に手の届く、一冊

『リサイクル全生活ガイド』リサイクル文化編集グループ編/リサイクル文化社発行/¥1,200

☆だっさい表紙とは裏腹に、中身のカットや地図がむちゃオシャレ。メインのショーフ紹介が半分を占めるもの

の、ゴミの問題や環境問題のHOW・TOがぎっしり。

行政や市民グループの連絡先、問題における数字などの

資料関係も充実しており、「何が問題なのか」ポイント

もしつかり押さえてあります。問題を一通りグローバル

に把握してから、行動を起こしやすいつくりになって、

アクティブな人にお勧めの一冊です。

ねこ好きの人間嫌い

他人は言ひ

動物にとって社会とはなにか「日高敏隆/講談社学術

文庫/¥380

☆やや昔の本ですが、今をときめく日高さんの好き、地

球が人類だけの物ではないというごくあたりまえの事実

を忘れてしまった人の、なんと傲慢なことか!生きとし

生けるもの全てへのやさしさと、ヒトへのシニカルな視

線は、人類至上主義的環境問題の在り方を照射する(と、

思う)。直接環境の本ではないですが、一読の価値アリ。

人類にはこういう「優しさ」も必要なのでは?



# NETWORKS ③

# INFORMATION

## 「グループKIKI」 田中 優

●グループKIKIは'88年に創設。リサイクルから東京電力の株主になることを、幅広い活動を通じて脱原発や熱帯林保護に取り組む。現在、江戸川区は自治体へのキャンペーンにおいて国内でもっとも進んだ状態にある。

「熱帯材不使用」条例へむけて

H：そちらでは自治体に陳情をだしたとの事ですが。  
 K：六月一七日にKKを含めた実行委員会で提出しました。私達が思うには、署名、陳情は数人から出来るし、どの地域でも「不使用」にむけての要望が議会へ提出出来るのではないのでしょうか。  
 H：私達もこの九月議会で陳情の予定です。アドバイスがあつたら教えて下さい。  
 K：小さな自治体では、環境や熱帯林問題に意識が高まつてきたら、各会派の議員さんが紹介議員になつてくれたら、「請願」や「条例」決議が可能と思えます。人口の多い自治体や県レベルでは「削減」計画を一緒に進めるか、各会派議員さんに「意見書」をお願いすとか。  
 H：全国的に熱帯林保護の高まりを感じますね。  
 K：合板でも来年ぐらいに針葉樹合板が売れる状態になつてきて、企業でも熱帯林を考えねばという現状です。  
 H：まだ何も行って無い地域でも議会へいけばと。  
 K：そうですね、まず暮らしを見つめながら足もとのある運動をあちこちで作って、市民がどんどん議会までいきましよう。  
 (H：ウータン 文責・西岡)

【連絡先】〒132 東京都江戸川区香江町2-4-11 611  
 Tel. (03) 36652111 51

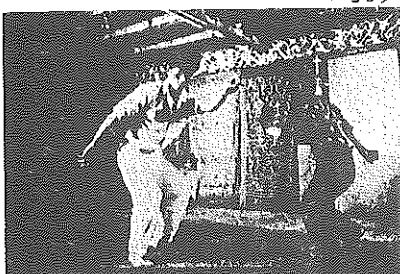
**「水俣91 in 大阪」**  
 水俣病は終わっていない！  
 所◎YMCA会館  
 時◎九月八日(日)  
 12時開場 13時開演  
 前夜 13:00開演  
 当日 13:00開演  
 中絶 15:00開演  
 後夜 17:00開演

●座談会  
 風田正晴さん  
 ●講演  
 花岡孝平さん  
 ●歌や踊り  
 藤崎 悟さん  
 ●展示  
 水俣病の歴史を題材にしたパネル展

●創作劇  
 脚本 ◎松岡正史 中川正史  
 「浪花の水俣応援歌」 橋本 隆夫 演出  
 水俣病の歴史を題材にしたパネル展  
 コミカルにシリアスに、涙に、笑いに、

主催：水俣91 in 大阪実行委員会  
 主 催：「水俣」91

比皆さん、是非参加しましょう！！  
 ウータンも参加団体に参りました。



「ベジラライ」より

マレーシアの映画

ステファン・テオ監督

## 『ベジラライ』

地球環境を考える講演と映画会

9月19日(木)・ステファン・テオ監督講演あり  
 18時と19時

**お早く！**

- ① 13:30 ~ 15:10
- ② 15:30 ~ 17:10
- ③ 19:05 ~ 20:45

◆大阪府立文化情報センター

(地下鉄西橋線「肥後橋」下車、朝日新聞社ビル西隣)

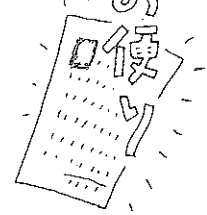
◆主催：大阪府立文化情報センター  
 申し込み 06-4441-1101まで

無料 FREE

申し込み必要！

# ウータンに届いたお便り

THANK YOU!



◆いつも通信をありがとうございます。

今晚された「サラワク・森の女たちの証言」は行きたくったなあ。ウータン誌上でお伝えいただけるとうれしです。皆様お元気で!



(大阪市住之江区・巻田恵子)

◆いつもお世話になってしまっ……ありがとうございます。

又、東京・大阪あたりでお会いできる日を楽しみにしています。  
(グリーンピース・ジャパン・ハマモト)

◆頑張ってください(カンパです)

私たちアマゾンの方、ユニークなスタイルでやっていこうと思っておりますので何とかHELPして下さい。  
(熱帯森林保護団体・南研子)

◆いつもニュースをありがとうございます。

宮脇昭氏の「罪状」については、きっちり書いて教えて下さい。  
(岡山県・岡本和子)

今回はお便りが少なかったようです。みなさんの声を聞かせて下さいませ。よろしゅうに……

【会費納入】どうもありがとうございます。〈敬称略させていただきます〉

⑨1 同より

- |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |         |       |       |       |       |        |      |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 根本 博  | 田中 真澄 | 伊藤 初美 | 小田原 修 | 見取 徳明 | 山中 浩一 | 山玉 和美  | 紫田 秀芳 | 春日 孝之 | 助友 伸子 | 馬谷 憲親 | 小山 孝博 | 三井まり子 | 赤坂 和則 | 木村 久吉 | 金藤 浩司 | 道田あづさ | 石川 信子 | 藤村はるえ   | 福田賢三郎 | 本田 次男 | 中尾 卓司 | 工井 文雄 | 春日 直樹  | 東 定男 |
| 宮野由紀子 | 波澤 弥生 | 塚本まこと | 伊東万千子 | 佐藤みゆき | 橋本 杉子 | 荒川純太郎  | 新作 裕子 | 竜子 正彦 | 荒川 先生 | 藤井 満  | 高多佐知子 | 山内 智  | 高柳 敦  | 井下 祥子 | 輿村知亜子 | 篠宮 早苗 | 東村 岳史 | 大沼 淳一   | 古橋 雅夫 | 奥村 直子 | 寺川 庄蔵 |       |        |      |
| 大江 省吾 | 川本 克則 | 川北 寿子 | 足立 節雄 | 太田 敏一 | 百賀 純子 | 米田佐知子  | 木殿 晴彦 | 面村 知子 | 卷田 恵子 | 上田 真弓 | 吉本 弘子 | 向井 千晃 | 田中 恵子 | 西岡 良天 | 稲垣 紀代 | 村田 和子 | 本領 宏子 | 一鷹 要市   | 北本 一郎 | 寺田 武彦 | 斎藤 誠  | 深見 史  | 秋山 史   |      |
| 牛田 繁  | 汐見 文隆 | 自立労働  | 春日美恵子 | 山中 浩一 | 島 直樹  | 加賀瀬みどり | 善財 利治 | 有賀 理恵 | 蓮原 耕児 | 岡本 和子 | 串田 勉  | 面村 和則 | 太田 俊男 | 佐々木幸恵 | 鈴木美津恵 | 水野 直理 | 大里 秀幸 | クイン・ビズン | 佐野 伸樹 | 高田 利恵 | 北澤 新  | 山本 和彦 | (ワケ不明) |      |

\*もし、欄外に名前がない場合はご連絡下さい。

★会計計報出日★ (90年6月1日、91年5月31日)

収入

90年会費 (20000×98) 196,000円  
 91年会費 (20000×9) 18,000円

カンパ

134,004円

講師謝礼

54,000円

例会参加費 (6回)

91,200円

「ウータン」販売

23,200円

物品販売

29,800円

事業収入

20,100円

JATAN資料売上

2,000円

89年度繰越金

146,702円

合計 ¥715,006円

支出

印刷費 (紙・コピー代含む)

166,943円

郵送費

173,594円

雑費

28,249円

家賃

40,000円

会場代

59,257円

講師謝礼

45,000円

交通費

54,700円

合計 ¥567,743円

収入ー支出

715,006ー567,743=147,263円

91年度へ繰り越し

毎度のことですが……

カンパの  
お願ひです

「ほんまに困って

いますんで、皆さん

どうぞよろしゅうに……



ええ、熱帯林の過剰な伐採をSTOPさせるべく活動をしてせる「ウータン」ですが、悲しいかな、非力な市民団体ゆえ、先立つモノが不足ぎみです。学習会や報告会などの催しを企画しようにも、またウータンを紹介するフレットを作るうにも、数万単位のお金がかかります。「映画会をやりたい!」という声も、フィルム貸出料や会場費などが大きなネックになっています。その他にも事務所の維持費(月1万弱)・会報の印刷費(1号あたり2万前後)・発送費(切手代多い時5万近く)など、定期的な出費も考えなければなりません。前回の会報「ウータン」で会計報告致しましたが、突発的な事柄への対応(例えば先住民の急な来日による集いなど)が必要とされた場合、いささかこころもとなない状況です。ウータンでは沢山の「あれやりたい」「これやりましょか」の声を待っています。そしてそれらの声を実現させる為の活動資金も、広く待っています。ウータンをあなたの手足として使ってください。でも、手足にも栄養を下さないね。一緒に、森の破壊を止めましょう。

「じゃーん、久々に会報に登場の川本です。えー一年半の間事務局のスタッフ及び会計を務めさせて頂きましたが、都合により無期休養することになりました。またいつの日か復帰した時は、よろしくお願ひ申し上げます。そしてこのウータンの会も様々な(?)人がかかわるようになり、少しかわって来たなあと思えますのでまた何らかの形で協力お願ひします。」  
 最後に僕のひとり言  
 夢を夢のままでおわらせたくないからまあ出る。ことが大切

川本克則



会計

が 変わりました。

7月で 川本克則さんから

興村 知亜子さんにバトンタッチ

されました。

「お金の管理は大のにびまわ〜!」→「そ〜言わん!」(STAFF一同)

(興村)

HUMAN ACTION SCHEDULE

SEPTEMBER

9・8 日



『水俣』第1大阪集会・YMC&A会館  
 ・12時より(詳しくは本ページ参照)  
 ・カラオケ・スラングをとりだ……  
 『ベジタリアン』上映会(3回上映)  
 地球環境を考える講演と映画会  
 ・PM1:30、3:30、7:05。府立文化情報センター  
 ステーションオ監督の講演あり!  
**無料** (詳しくは本文参照)

9・19 木



『カリマンタン』(インドネシア)『報告会』  
 ウータンのメンバーが始めて入った現地報告です。  
 ・1:30、4:30 PM ③700円  
 大阪市中央青年センター (JR森宮下車)  
 TEL:06(943)5021 (面へ5分)

9・22 日



『第三世界の豊かさ』と講師・長峯晴夫先生  
 ・開演緑地ユースホテル(豊臣甲申)  
 ・④6:30 PM ~ ⑤4:00 PMごろまで  
 (向い合せ) 関西NGOの大学事務局・芦田さんまで  
 TEL:0725(711)2111

10・5 土



『ベジタリアン』上映会 (夕刻より)  
 ・南無寺 ↓ 南海本線 泉大津駅下車10分  
 ・おんあいのい  
 TEL:0725(732)3070

◆10月19日⑤~26日⑤は世界熱帯林週間です。LET'S ACTION!!

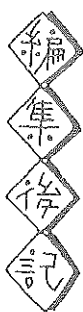
【おわび】

●またまた、おわびをしなければなりません。  
 前号(20号)の発送の際、会員でない方(集  
 会や日例会に来て下さった方)や、日頃何かと  
 ご協力いただいている方に「会費未納」とい  
 う失礼な印をおし、お送りしてしまつた分が  
 ありました。  
 これらは全て私たちがスタッフの怠慢と事務  
 体制の不備からきています。  
 「ウータン」読者の皆さんや他の皆さんに大  
 変不愉快な思いをさせてしまつたことをここ  
 に深くおわびいたします。  
 私たちがスタッフは現在約8名程でウータン  
 の全ての活動を行なっていますが専従は一人  
 もなく皆仕事をもっている関係で慢性的な人  
 材不足と財政難の中、悪戦苦闘中です。  
 かさねてのお頼みですが、どうぞ熱帯林を  
 守る活動にご協力下さい。

会員はもっと下さる!

まだまだ活動をささえてくれる会員が少な  
 く、このことは財政難のもとでもあります。  
 STAFF全員の切なる頼みをどうぞお聞  
 き下さいませ。

HUTAN



●編集後記です。『情報』を2つ  
 のせることにします。  
 ●新屋英子さんの一人芝居「千ヨリ」  
 を着た被爆着」が、今号に原稿を寄せ  
 ていただいた松本さんの北東本保育園  
 で上演されます。9月5日⑤PM6:30  
 参加費500円です。必ずご連絡して  
 詳しくお聞き下さい。TEL:0720(81)  
 0746 松本

●「JEE」のサリースティブンズさんが  
 大阪でグリーンイングリッシュ」と名う  
 つて英語レッスンを開始しています。  
 環境をテーマにしたものであること  
 です。詳しくは「JEE」0726(83)746まで  
 サリースティブンズさんTEL:0726(83)746まで

ウータン定例

会は毎週火曜  
 午後七時半よ  
 り自然連合事  
 務所にて行  
 います。  
 お気軽にお寄  
 して下さい。  
 06(372)1561

【ウータン事務局(適合器)所内】

